

ハンドブック  
ワンポイント  
レッスン

# 知っておきたい規則とルール

## Question .....

自分自身の審判技術の向上を目指して、ソフトテニスハンドブックを読み、競技規則や審判規則、大会運営規則を勉強していますが、次のような場合にはどのように対処したらよいでしょうか。

ファーストサーブがフォールトになり、セカンドサーブのボールがサービスラインとサービスセンターラインの交わるあたりに落ちインであった。主審はインと判断したが副審はフォールトと判断してフォールトのサインをし、アンパイヤーの判定が食い違ってしまった。

このような場合は、主審が「タイム」とコールして、アンパイヤーが判定を誤ったためにプレーに支障が生じたので、プレーヤーを審判台のところへ呼んで説明し、その後「ノータイム、レット、ワンモアサービス」とコールして再開すればよいのでしょうか。

## Answer .....

マッチ中、次の場合はタイムをとることができる。

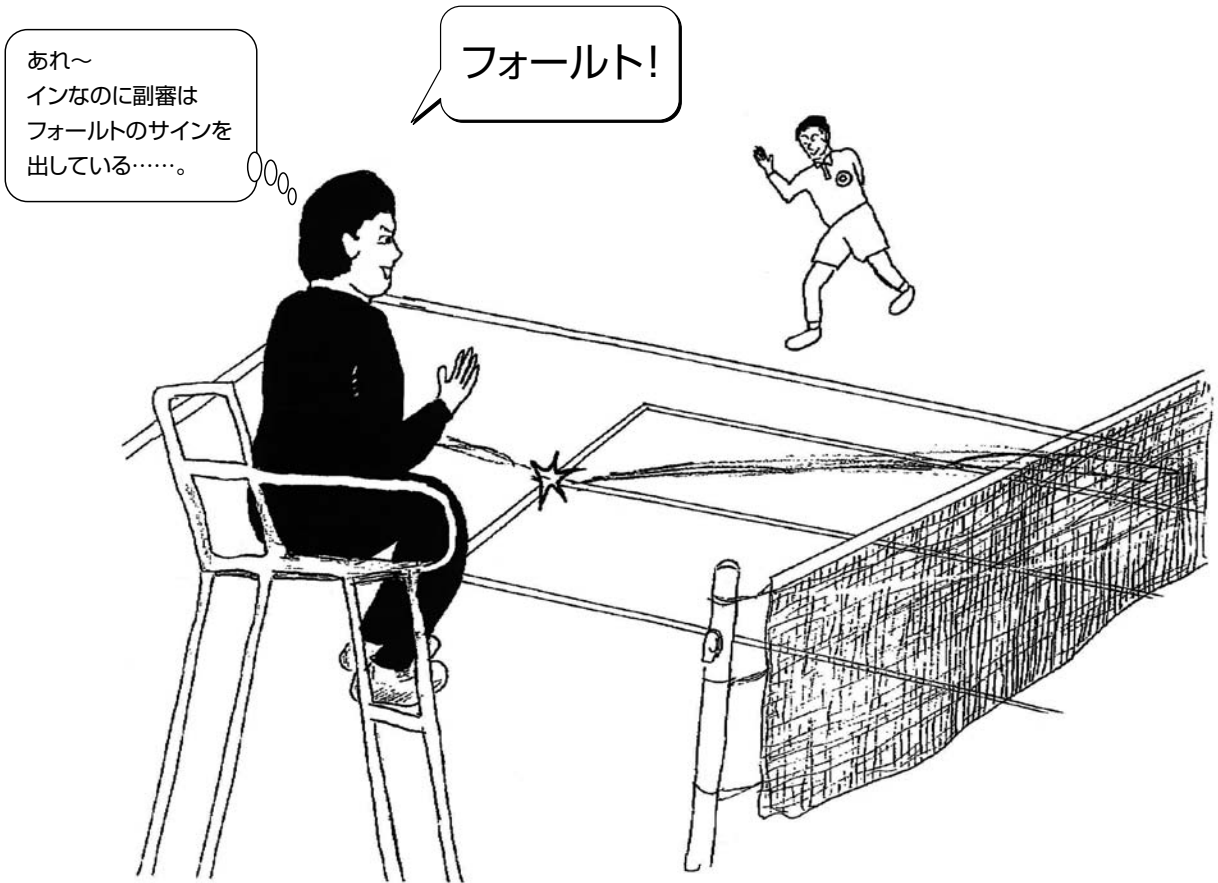
- ①プレーヤーに突発的な身体上の故障が生じ、プレーの継続ができなくなり、これを正審が認めた場合。ただし、同一人が1回につき5分以内とし、かつ同一マッチで2回以内とする。
- ②その他正審が特に認めた場合。

この度の質問は、判定区分に関する問題で、一緒に考えてみましょう。

サービスセンターラインは正審の判定区分で、サービスラインは副審の判定区分です。ところで、サービスセンターラインとサービスラインの交わる所は両方に係わる所ですね。正審はインで副審はフォールトと判定し、アンパイヤーの判定が食い違いました。ここで副審がサービスセンターラインの判定をしたのであれば「タイム」をかけるところでしょうか、この度の区分は正審・副審の両者に係わる所で副審の判定区分でもあり、副審の判定どおり正審は「フォールト」とコールしてインプレーを停止します。しかし、レシーブするプレーヤーが実質的に返球可能な状態であったと判断できる場合は、アンパイヤ

ーが判定を誤ったためにプレーに支障が生じた事をプレーヤーに告げ、「レット・ワンモアサービス」とコールして再開すべきです。また、アンパイヤーのフォールトの判定の有無を問わず、レシーブするプレーヤーがレシーブする事ができないと認められるような状態であれば、レットにしないで「コレクション・イン」とコールして、判定をインに変更しレシーバーの失ポイントにします。実質的に返球可能かどうかの判断は正審が行う事になっています。

ここでプレーヤーを正審(審判台)のところへ呼んで説明する事を研修会等では説明しますが、インであった事が明らかですので、アンパイヤーの任務や心得に明記してあるマッチの円滑な進行と言う観点から説明を省く事があります。



そして、正審がプレーヤーに大きな声で通告するのも1つの方法です。

皆さん審判技術の向上のために、平素からソフトテニスハンドブックを読み返し正しい解釈と理解を深められると共に正しい用語を使用される様子を気をつけましょう。

ちなみに、「主審」ではなく「正審」です。「ファーストサーブ」ではなく「第1サービス」です。「セカンドサーブ」は「第2サービス」と記載されています。

### 【関連規則】

競技規則（サービス）第20条

競技規則（サービスのフォルト）第25条第2項

競技規則（サービスのレット）第26条第1項第3号ア

および【解説11】3.

審判規則（アンパイヤーの任務）第6条第1項

審判規則（アンパイヤーの心得）第7条第1項第3号ウ

審判規則（アンパイヤーの判定区分）第8条第1項第1号

審判規則（プレーの停止）第16条

### ジュニア審判マニュアル

競技規則について 7. サービス

(6) サービスがレット（そのサービスのやり直し）となるのは  
どんなときか？ ③（ア）

(7) サービスのときの失ポイント

審判規則について 1. アンパイヤーの任務と心得 (2) (11)

審判規則について 2. アンパイヤーの判定区分

審判規則について 7. 間違ってインプレーを止めさせるサイン  
またはコールをしたら？（プレーの停止）